

# 著者略歴

## 藤田 晋輔 (ふじた しんすけ)

1939年 神奈川県横浜市生まれ。  
1961年 鹿児島大学農学部林学科卒業。  
1964年 京都大学大学院農学研究科修士課程（林学専攻、木材物理学）修了。  
1964年 島根県立島根濃科大学 林学科 助手。  
1967年 島根大学農学部 林学科 助手。  
1969年 静岡大学農学部 林産学科 助教授。  
1974年 農学博士（京都大学）。  
1980年 鹿児島大学農学部 林学科 助教授。  
1990年 鹿児島大学農学部 生物環境学科 教授。  
2004年 鹿児島大学を定年により退官。

現在：鹿児島大学名誉教授、株式会社鹿児島TLO取締役、木質炭化学会副会長、鹿児島大学非常勤講師、鹿児島国際大学非常勤講師（社会福祉学部）、鹿児島市都市計画審議会委員、志布志市環境審議会会長、屋久島CO<sub>2</sub>フリーの島づくり研究会委員。

これまでの公的活動：かごしまウッドテック・フォーラム会長、鹿児島県木材利用推進用議会委員、鹿児島県技術アドバイザー、鹿児島県環境共生住宅指針策定委員会委員、林野庁木材産業技術実用化促進緊急対策事業試験調査委員会委員、鹿児島県森林審議会委員（会長）、放送大学客員教授、経済産業省地域新生コンソシアムBDF製造研究推進リーダー、文部科学省地域科学技術推進委員会専門委員、（独）大学評価・学位授与機構国立大学研究評価委員会（専門委員）、鹿児島県自治体のバイオマスタウン構想策定委員会委員（南大隅町：委員長、志布志市：委員長、鹿屋市：副委員長）等多数。

専門分野：木材物理学、地域資源環境学。

現在の研究分野は、バイオマス資源の地域資源循環システムの構築、ゼロエミッションシステムの構築、屋久島における循環型社会システムを創る、より良い住環境を創生するために木炭・竹炭を利用する、木炭・竹炭の機能性材料としての創製と新規活用、等。  
主な受賞としては、1993年第1回日本木材学会地域学術振興賞、2003年国土交通省海上保安庁長官表彰。

主な著書類として、

新編木材工学（分担執筆、1985年、養賢堂）、  
木炭を生かす（1987年、日本住宅・木材技術センター）、  
木材材料学講座 3 物理（分担執筆、1992年、海青社）、  
木材材料学講座 2 組織（分担執筆、1993年、海青社）、  
木材材料学講座 8 木質資源材料学（分担執筆、1993年、海青社）、  
廃棄物の炭化処理と有効利用（分担執筆、2001年、NTS）、  
放送大学大学院「環境工学」（分担執筆、2003年、放送教育振興会）、  
ゼロエミッション屋久島プロジェクト（共著、2003年、鹿児島TLO）、  
鹿児島大学植物園の樹木たち（共著、2004年、鹿児島TLO）、  
職業と実践（共著、2004年、鹿児島学術文化出版）、  
炭・木竹酢液の用語辞典（分担執筆、2007年、創森社）、  
世界自然遺産・屋久島と屋久杉の秘密（上）（2008年、八十一出版）等。

上記の現職は著書発行年月日現在のものです。